

一般社団法人島根県臨床工学技士会

平成30年度第7回理事会議事録

- 開催日時：平成31年2月8日（日） 午後7時00分
- 開催場所：web会議
- 理事・監事の数および出席理事・監事の数並びにその出席方法
 - (1) 理事の数 12名、監事の数 2名
 - (2) 出席理事の数 9名、出席監事の数 2名
- 出席理事の氏名 福田 勇司、錦織 伸司、明穂 一広、上岡 栄司、藤松 祐輔、
宅江 呂剛、澄川 隆、宇津井利奈、加藤 智久
- 出席監事の氏名 原 敏郎、来間 勇治
- 議長の氏名 福田 勇司

(議案)

1. 第9回中四国臨床工学会についての件

議長は、本件について藤松理事に説明させた。

第9回大会の進捗状況について（別紙参照）、演題登録のテストも完了しており、特に問題なければ4月1日よりアップする。また事前登録画面はテストが終了し一部訂正（事務局が技士会のままなので、第9回に変更）する。

事前登録の区分に「会員」と「非会員」と明記しているが、「中四国地区臨床工学技士会会員」とするが良いか、「臨床工学技士」と記載する方がよいか、意見を願う。これについては、理事会一致で「臨床工学技士」と記載する方針となった。

また、学生の事前登録が必要かという提案に対し、不要と決定した。

各機関への後援申請について文書を作成した。問題なければ事務局より郵送する。山陰中央新報社については後援申請の情報がないため、以前キッズセミナーの担当をしていた山陰中央新報社の方に連絡してみる。

意見交換会について、アトラクションとして島根県観光大使を呼ぶという意見があった。他にも、各県対抗クイズ大会（医療機器などを題材に）という案もあった。これについては今後協議が必要。

プログラム内容について、シンポジウムとして日臨工本間理事長と連盟肥田理事長に臨床工学技士は天職か、ディベートセッションを予定している（大会2日目朝）。この2名には依頼済み（福田会長より）。

共催セミナーとして、旭化成メディカルから申請が挙がっており、演者も決定しているとのこと。ニプロにもお願いしている。

ホスピタリティはJMS、Medtronicで決定している。

他県の CE より、JMS 出雲工場の見学ツアーの希望があった。しかし、大会会期中は工場が休みのため、前日の金曜日を候補として考えている。基本は現地集合だが、JR 出雲市駅からバスを出せればそうしたい。現在調整中。

学生ボランティアは1日あたり、10名程度お願いする予定。他施設のスタッフは4月の施設代表者会議で検討する予定。

2. 教育担当より報告の件

議長は、本件について明徳理事に説明させた。

第2回島根県臨床工学技士会学術大会についての進行状況は、別紙の通りで、広告17社、展示10社、プレゼン2社である。一般演題については9演題。学生はアメリカ研修のため参加できなくなった。特別講演は、松江腎クリニックの草刈先生と、島根大学医学部の二階先生にお願いした。座長については6施設のCEにお願いした。

1月20日に開催した呼吸器セミナーは、会員20名、非会員43名、学生2名の計65名の参加があった。機器展示は4社であった。詳細については先日送付した報告書を参照。

今年度の事業は、3月の血液浄化ステップアップビデオセミナーと第2回学術大会である。

検討事項として、講師への謝礼は後の議題である謝礼金の規定には間に合わないのので、今回は3~5万で検討している。大会の冊子（プログラム）については3月の発送は間に合わないのので、当日配布とする。サポート技士という名称を「教育運営委員」とする。

教育担当理事の交通費の支給について、教育担当理事は担当会議やセミナー会誌で交通費がかかっている。これについて技士会で負担して欲しい。これについては、試算して問題なければ予算に計上してからとなるため、会計と検討する。

来年度のセミナー計画について、追加を検討している。

3. 広報担当より報告の件

議長は、本件について澄川理事に説明させた。

会誌の発行は、原稿が全てそろったので木次印刷へ提出している。納品は2月末を予定しており、総会議案書と一緒に送付予定である。

提案事項として、学会カレンダーの作成を検討している（他県ではやっている技士会もある）。これを印刷して配布するのか、webで公開するか検討が必要。印刷は経費もかかる、またどのタイミングで発送するのか不明である。来年度の検討案件として広報で検討することとなった。

4. 会計報告についての件

議長は、本件について錦織理事に代理で説明させた。

第2回の学術大会の振り込みは、各メーカーへ請求書を発送する。合わせて、第9回中四国臨床工学会のYボード企画は、メーリングリスト内で検討中である。

5. 事務局からの報告の件

議長は、本件について錦織理事に説明させた。

4月20日に中四国臨床工学技士会連絡協議会を岡山で開催する。案内を先日メールで送信した。

6. 講師謝礼金規定の件

議長は、本件について説明した。

事前に、「講師及び原稿執筆料等謝金に関する規定」案を送付した。これについて、医師および、それ以外のコメディカルの謝礼に規定を設けた。定款細則となるため、理事会の決定があれば良い。これを理事に問うたところ異議はなかったため、決定した。

7. 次回理事会

次回理事会は3月9日を予定。

議長は、以上をもって本日の議案審議を終了した旨を述べ、午後 8 時 10 分閉会した。
以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、出席理事及び監事がこれに記名
押印する。

平成 3 1 年 2 月 8 日

一般社団法人島根県臨床工学技士会 平成 3 0 年度第 7 回理事会

議長理事 福 田 勇 司

理 事 錦 織 伸 司

理 事 明 穂 一 広

理 事 上 岡 栄 司

理 事 宅 江 呂 剛

理 事 藤 松 祐 輔

理 事 宇津井 利 奈

理 事 澄 川 隆

理 事 加 藤 智 久

監 事 原 敏 郎

監 事 来 間 勇 治